令和７年度 島根県立隠岐水産高等学校 教育方針

Ⅰ　校　訓

１　真理と正義を愛せよ
２　勤労と責任を重んぜよ
３　心身ともに、たくましく鍛えよ

合い言葉

熱　意気　団結

Ⅱ　教育目標（目指す生徒像）グラデュエーション・ポリシー

地域を愛し、地域に愛されつつ、未来を切り拓く「海洋スペシャリスト」の育成

１　水産・海洋教育をとおして、豊かな人間性と人格の形成を図り、地域社会に貢献する人材を育成する。
【Localist の育成】

２　水産・海洋関連産業に関する、専門的知識と技能を身につけた人材を育成する。
【Specialist の育成】

３　心身ともにたくましく鍛える教育活動を実践し、勤労意欲・責任感・正義感の旺盛な人材を育成する。
【Rich humanity を備えた人材の育成】

Ⅲ　目指す学校像　スクールポリシー

県内（隠岐島内）の生徒を大切にしつつ、
全国から生徒を受け入れ切磋琢磨する全国区の高等学校へ！

Ⅳ　本年度の重点努力目標　カリキュラム・ポリシー

１　生徒が自ら意欲的に取り組み、学び、伸びていく集団づくりに取り組む
（１）一人一台端末の利用、対話的な要素、振り返りの要素を取り入れた授業改善に積極的に取り組み、生徒の学習への動機付けや探究心の向上を促す。
（２）基礎的・基本的な「知識・技能」を着実に獲得・定着させながら、それらを社会の様々な場面でどのように活用できるか、考えさせる。
（３）授業での学びを様々な資格取得に関連づけて、相互に学びの深化を促す。

２　予測が困難な社会を生き抜くために必要な資質・能力の育成を促す
（１）基本的生活習慣を身につけ、よりよい生活や他者との関係性を積極的に作ろうとする態度を育む。
（２）生徒一人ひとりの個性や資質・能力の多面的理解に努め、計画的かつ組織的な生徒指導・寄宿舎指導等を実践する。
（３）特別活動（学級・生徒会・学校行事）や部活動等の学びの場において、他者との関係性の中の自分を見つめ、自己理解が深まるよう促す。

３　生徒のキャリア形成に必要な能力・態度を育て、進路希望実現を図る
（１）学校生活と社会生活、将来の夢と学業を結びつけることにより、児童生徒の学習意欲を喚起する。
（２）生徒・保護者・教員が現状を正しく認識し、必要な情報の収集・共有を行う。
（３）水産・海洋関連産業への就職および水産・海洋系大学等への進学を支援する学校体制の推進を図る。

４　人権教育、道徳教育、特別支援教育を根底に据えた教育活動を推進する
（１）校内組織および支援体制を充実し、安心・安全な学びの環境を整える。
（２）あらゆる教育活動をとおし、人権意識と共生意識を育み、社会性を身につけさせる。
（３）　生徒個々の特性・状況把握に努め、保護者や特別支援学校等と連携した取り組みを行う。

５　日本の水産・海洋教育を担う高校として、魅力と活力ある学校づくりを推進する
（１）地域や行政との連携をより一層深め、地域に貢献する積極的な活動を推進する。
（２）魅力ある教育活動を積極的に情報発信し、生徒募集に努める。
（３）学校の持つ教育資源を積極的に活用する取り組みを推進する。

Ⅴ　求める生徒像　アドミッション・ポリシー

１　明確な目標を持って努力する生徒
２　協調性があり、他人を思いやる心優しい生徒
３　規則を尊重し、我慢強く責任感のある生徒生徒む